

# No. 1395

## 災害に強い都市をめざして

「災害に強い都市をめざして——防災行動力を高めよう」をテーマに、新春恒例の東京消防庁の出初め式が行なわれました。この日、東京晴海ふ頭には消防職員や都民ら約3600人が参加。江戸消防記念会のメンバーらの威勢のいい木やり節やハシゴ乗りも披露され、見物客を楽しませました。このあと、災上する消化訓練ハウスに立ち向かい、初期消火活動を実演。さらに人形の模型を使ってヘリコプターによる屋上避難者の救出活動などが繰り広げられました。去年は川治温泉など、大きな火災が続きましたが、こうした災害を防ぐため、常日頃から一人一人が防災に心がけたいものです。

## ビュッフェ石版画展

戦後のヨーロッパ画壇を席卷し、具象絵画の重鎮としてゆるぎない地位を占めているベルナール・ビュッフェ展が、今、東京新宿の小田急グランドギャラリーで開かれています。1948年混乱期のフランス美術界でいち早く頭角をあらわしたビュッフェは当時流行の抽象絵画に対抗し、独特の具象的造形世界を作りあげました。極度に感情を抑制した鋭い線によって現実を厳しく表わしたビュッフェの作品、愛好者の人気を呼んでいます。

## 新春を迎える神事

— 群馬・富岡 —

群馬県富岡市にある上州貫前神社。経津主命（ふつぬしのみこと）を祀るこの神社はまた戦いの神として古くから西上州の人々の崇敬を集めている。神社は今年、13年に一度の式年御遷宮の年にあたり、昨年12月12日には仮宮へ御神体が移された。この神事はまったくの暗やみのなか行われる古式豊かなものである。毎年1月7日には新春を迎える“生弓矢生太刃”の神事が行われる。特に今年は御遷宮にあたる年のため盛大に行われた。これはその昔、貫前神社が賊におそわれた時、近くにある宇芸神社の氏子たちが総出で助けにかけつけ、賊を追い払ったことのお礼まいりであり、それが後に鬼バライの神事となったものである。い組火消衆を先頭に神主、2人の射手、火消侍と続く。子供たちが村人に配るのは厄除もち。行列は宇芸神社の氏子に迎えられて到着。社殿でさっそくお礼の神事が行われた。貫前神社をおそった賊がにげ込んだという胴塚では2人の射手が矢を射って鬼バライ。寒風吹きすさぶ西上州の人々はこの新春を迎える神事が無事すむと今年もまた安泰に過ごせると思うのである。